

少年消防クラブ (BFC) 半田消防署一日入署



放水体験



消防服を試着するクラブ員

防災への意識改革 69

安全で住みよい
まちづくり
ニュース

防災交通課
(内208)

少年消防クラブ(BFC)員が八月八日に半田消防署へ一日入署体験を行い、阿久比町からは各小学校のクラブ員を代表して六年生二十三人が参加して防火や救急への意識を高めました。

少年消防クラブ半田消防署一日入署はクラブ員に、消防業務について関心を深めさせ、防火意識の高揚とクラブ員同士の親睦を図ることを目的に、毎年実施されています。クラブ員が体験した種目は、施設

見学、地震体験・濃煙体験・救急体験・放水体験・規律体験・はしご車の試乗・救助訓練の見学などです。

通信指令室の見学中に実際の救急通報が入り、緊迫した雰囲気も感じることができました。

救助訓練の見学後には、南部小学校卒業のレスキュー隊員との交流もありました。

大変暑い日でしたが、子どもたちは消防署員の話に熱心に耳を傾け、貴重な体験をしました。

少年消防クラブ(BFC)は、少年期から火災予防に関する知識を身に付け、火遊びなどの危険な行為を防止して、各家庭や学校で火災の防止を図り、火災予防思想の基礎を築くことを目的として発足しました。

全国レベルの組織団体で、阿久比町でもすべての小学五年・六年生がクラブ員になっています。

南部小学校で 防犯少年団設立



少年団員証を交付された南部小児童

南部小学校で「防犯少年団」の任命式が七月三十一日に行われ、五年生の児童十一人に半田警察署長から少年団員証の交付が行われました。

愛知県警が子ども同士の安全と防犯意識向上を図ることを目的に、防犯少年団設立を推進する中で、南部小学校は日ごろの防犯活動の実績が評価され、半田警察署管内のモデル校に選ばれました。

任命式の後、団員らはアピタ阿久比店に出掛け、店頭で防犯を呼び掛けました。

今後は安全マップを作成するなどして、下級生に安全指導などを行っていきます。